

保護者版 ^ギ^ガGIGAスクール

～ICT教育推進による子どもの学びの保証と充実～

GIGAスクール構想とは ～学校における1人1台端末～

これまでの
教育実践の蓄積

× ICT =

学習活動の一層の充実
主体的・対話的で深い学びの
視点からの授業改善

GIGAスクール構想とは、**1人1台の学習用コンピュータ（GIGA端末）**と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、子どもたちそれぞれに適した学びを提供し、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する取組のことです。

これまでの教育実践とICTのベストミックスを図ることで、子どもたちの力を最大限に引き出すことを目指します。

GIGA端末を活用した学習のようす

大型ディスプレイ
+ 充電保管庫



GIGA端末

1人1台のGIGA端末整備

→令和の時代の文房具として様々な
教室ですぐに・いつでも使える！



GIGA端末のイメージ

○各教室等で、子どもたちがGIGA端末を無線で活用できるよう、
高速大容量の校内通信ネットワークを整備

○授業配信できるよう、高画質のWeb
カメラを一定台数整備



GIGA端末を正しく活用できるよう、ご協力をお願いします

GIGA端末は様々な学習場面で活用します。また小1から中3までのすべての学年で、必要に応じて家にGIGA端末を持ち帰ります。新入生を中心に、学校ではGIGA端末を正しく使うことができるようきめ細やかに指導しますが、ご家庭でも使い方のルールについて、ご指導いただくようよろしくお願いいたします。

紛失または損傷について

バッテリーの劣化等、通常の故障の場合は、学校が対応します。故意または重大な過失による場合は、修繕費等の現状復旧にかかる費用は、保護者にご負担いただきます。

<故意または重大な過失の例>

- ・GIGA端末を投げて破損した
- ・GIGA端末をラケット代わりにして破損した
- ・GIGA端末を水の入ったバケツの中に入れて故障させた など

不正アクセスのトラブル等に対応するため、端末ごとに閲覧履歴や学習履歴を把握しています

学習イメージ ～例えば、こんなことに使います～

調べ学習

インターネットで調べ学習



写真・動画撮影

観察、実験等の写真を
撮影、振り返り



みんなの考えを共有

比較して新しい気づきへ



グループで意見交流

シンキングツールで考えを整理



自分の考えをまとめて

プレゼンテーション



デジタルドリル活用

一人一人に応じた個別学習



ICTを手段として活用し、学びの充実へ

授業等で
活用



授業等の学習場面の他、委員会活動など学校生活の様々な場面でGIGA端末を活用します



令和3年度

<本格活用元年>

GIGA端末に慣れ、基本的な知識・技能を身に付ける

令和4年度

<充実期>

GIGA端末を様々な場面で日常的・主体的に活用

- 令和3年度はGIGA端末の「本格活用元年」と位置づけ、デジタルドリルや授業支援ソフト等を効果的に活用し、基本的な知識・技能の定着を図る学習を進めてきました。令和4年度は、**GIGA端末を授業・家庭学習等の様々な場面で、日常的・主体的に活用するGIGAスクール「充実期」**を迎えます。
- 情報化社会が加速度的に進展する中、子どもたちが情報モラルを踏まえて、様々な情報を適切に活用していく「情報活用能力」がますます重要となります。今後もICTを手段として積極的に活用し、社会的変化を乗り越えるための基盤・土台となる子どもたちの**「生きる力」**の育成に努めてまいります。